

働こう障害者も 働けるんだオレたちも

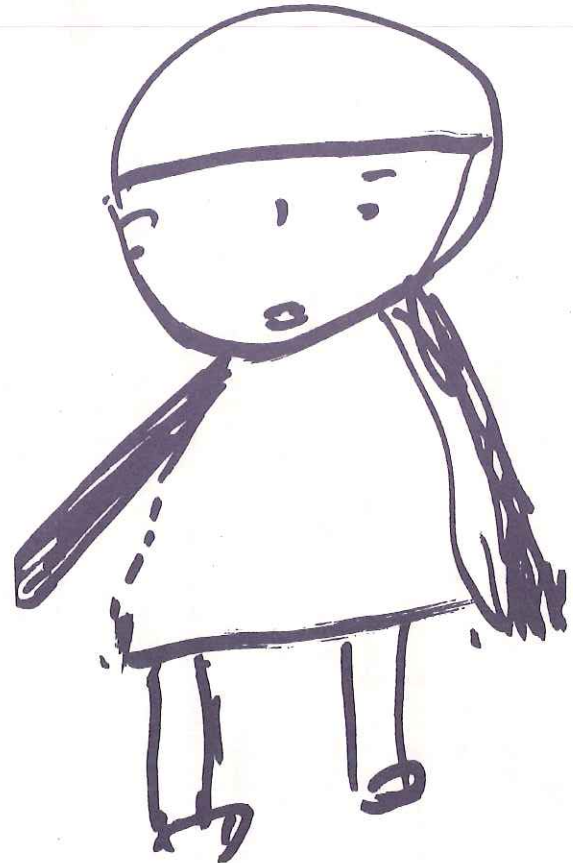
# こぶしだより

2001年7月25日発行

発行  
社会福祉法人 こぶしの会

発行責任者  
藤田 勝 春

編集責任者  
田 澤 幸 子



けやき 佐藤 イチ

### もくじ

- ①特集 地域での生活をつくる…… 2・3ページ
- ②仲 間…… 4・5ページ
- ③保護者・こよみ…… 6ページ
- ④トピックス…… 7ページ
- ⑤掲示板…… 8ページ

☆こぶし・けやき作業所 後援会決算報告

社会福祉法人  
こぶしの会

●法人事務局  
こぶし作業所

●けやき作業所  
●デイサービスセンター

●第2けやき作業所

●グループホーム  
こぶしのときわ荘

●グループホーム  
すずらんの家

☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401  
TEL 028(662)1911 FAX 028(662)1912

☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244  
TEL 028(687)1040 FAX 028(677)5789

☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532  
TEL 028(677)0495 FAX 028(687)4818

☎321-0954 栃木県宇都宮市元今泉6-14-20  
TEL 028(662)5533

☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2  
TEL 028(677)4430

## 特集

## 地域での生活をつくる

社会福祉法人こぶしの会の生活の場としては、グループホーム「こぶしのときわ荘」「すずらんの家」があります。それぞれのグループホームと作業所で、仲間の生活をより地域に密着させた新しい動きができています。こぶし作業所・こぶしのときわ荘では、宿泊体制変更と同時に、メンバーが路線バスを使ってきただけではなく、自分で考えて生活を工夫しているようです。けやき作業所・すずらんの家では、新たな生活支援の展開として、「生活の場を考える会」の活動と「グループホーム体験」の取り組みがスタートしました。地域で暮らす仲間を主人公に、保護者・職員が一体となって生活支援に取り組んでいます。

## こぶし作業所・

## こぶしのときわ荘

## ときわ荘のメンバーの

## バス通勤

## 上代 弘之

ゴールデンウィークも終わり、新年度の体制が落ち着きはじめて頃、ときわ荘では職員の宿直体制が一部アルバイトの介護福祉士専門学校学生（複数体制）に切り替わりました。それと同時に、その学生の協力を得て、ときわ荘のメンバーは、バス通勤をはじめました。

横山さんは、ひとりでバスに乗って歯科通院をしているので、バス通勤はお手

のものでした。佐々木さんは、全国のバスの図柄を知っている程バスが大好きで、バスに乗るのをとても楽しみにしています。また、好奇心旺盛の野中さんは、誰よりも早くバス停に向かいます。

私は、当初彼らはバス通勤よりも今までどおり、車での送迎を希望するだろうと考えていました。しかし、彼らに作業所までバスで通ってみないか話を持ちかけたところ、思いもよらず皆が皆、即答でバスでの通勤を希望しました。バス通勤は、朝の出発時間も早くなり、停留所から作業所まで徒歩で通わなければなりません。

なぜ、作業所職員の宿直体制を減らしたり、バス通勤を始めたのか。もともと、ときわ荘は、身辺介助も含めてかなりの

援助が必要なメンバーが生活しているため、作業所の職員を一名増員しての正規職員による宿直体制をとってきました。最初は、グループホーム専任職員が毎日泊まっていました。次に、同性の職員が交代で泊まるようになり、そして、今回の体制になりました。専任体制の時には、健康や生活管理が行き届いていました

が、どうしても管理的な面がでてしまいます。決められた人間関係の中で生活に変化がなく、「対等な人間関係」も正直言って微妙です。また、ときわ荘と作業所の間を職員の運転する車で移動する単調な生活を繰り返しては、メンバーの自立をむしろ遮断してしまうことにな

るのではないかと危惧しました。仕事の後で気晴らしに道草すること

や、帰宅して気がねなく作業所の悪口を言える、そんな当たり前の生活を保障するために、この様な取り組みをはじめました。私は、生活の場となるグループホームには、指導的要素が和らいだゆとりが必要だと考えます。生活訓練の場としてではなく、メンバーたちの出来ないところを援助することに重点を置いていきます。

この様な取り組みを始めてから、メンバーたちに少しだけ変化がみられました。バスに乗るために身なりを気にしてみたり、荷物を減らしたり、また、こっそり缶ジュースを購入し過ぎて、小遣いがなくなってしまうたり、失敗もしますが、本人なりに判断し工夫をしています。そして何よりも、自分たちで、バス通勤を達成した自信と誇りをもちはじめました。

ただ単に、作業所職員とは別の「世話人」の配置や公共交通機関の利用によって、生活が豊かになったとは思いません。しかし、ゆとりを得ると同時に、自分で選択判断する場を提供する事によって、責任感を養って欲しいと感じています。

(※専任体制の良い部分を残して新しいチャレンジをするために、月一回のグループホーム関係者会議をもって、その時々課題について話しあっています。)

新体制に伴い、ときわ荘に二名のアルバイトの学生が泊まるようになりました。二名とも栃木介護福祉士専門学校に在学しています。よろしくお願ひします。

中村 公洋

みなさん初めまして。私は、栃木介護福祉士専門学校の一年生です。今年の五月からときわ荘で週二回宿直のアルバイトをしています。ときわ荘の仲間とはすっかり仲良くなりました。こぶし作業所のみなさんと送迎の時などに会ったことがあると思います。これからも見かけたときには声をかけて下さい。

直井 英典

みなさん、はじめまして。私も中村さんと同じ学校の一年生です。ときわ荘では仲間がしつかり者で、教えられることが多く、毎週楽しみです。こぶし作業所では朝しかみなさんと会う機会がありませんが、仲良くなりたいたいと思っていますので、声をかけて下さい。

## げやき作業所・すずらんの家

### 生活の場を考える会の活動について

東岡 裕紀

昨年十二月に保護者会忘年会が開かれた際、保護者側から「入所更施設を建設しないという情勢の中でこれからの生活の場はどう創っていくのか？どのように進めていくのか？」という意見が多く出されました。早速げやきに戻り職員側で議論したところ、所長をはじめとして生活支援担当職員と生活の場代表（鎌田さん、関本さん、塚田さん）が事務局となり「生活の場を考える会」を保護者会の組織の一部として設置し、今年一月から活動することとなり、五月の保護者会総会にて正式に承認されました。現在は今年十月開設予定の「第二すずらんの家（仮）」の設置・運営・人選に関する事、これからの生活の場をどこにどのような創り運営していくかが主な議論となっております。

今年三月には事務局にて精神障害者の生活の場を先進的に進めている佐野市の「生活支援センターさの」とそこで運営しているグループホームを見学してきました。

した。グループホームを作る際に利用者の意見をどんどん採り入れ施設運営をしていることがわかりやすく担当の方から話されました。精神障害者の分野では障害の特性から「個室」が以前からいわれていますが、知的障害者においては最近になって人権等の配慮からやつと「個室」化されています。

障害の程度や医療的ケアが必要な利用者には職員を加配するなどの配慮が必要ですが、障害の重いといわれる方々が利用できるグループホームとはどのようなものか、どのように作っていくかじっくりと議論していきたいです。

### グループホーム生活体験学習を通じて

矢板橋 敦

新しい生活の場に向けての話し合いの中で、保護者の方々から「急激な生活環境の変化に対しての不安」「グループホーム適応の不安」という声が多く出され、「短期間の生活体験の場を作り、新しい生活の場に向けて今から準備していく必要がある」という要望が生まれてきました。これらの切実なニーズに応えるため平成十三年四月から「グループホーム体験」と称し、市貝町上根にあるアパート

「高橋ハイツ」を利用し実施するに至りました。

開始当時は、アパートという慣れない生活環境に加え、実際に親から離れて生活することが初めての方がほとんどだったので、食事をあまり摂取できなかったり、落ち着いて眠ることができなかったりと、なかなか自分の生活リズムをつかめず混乱してしまう姿が目立ちました。しかし、生活体験の回を重ねるうちに初めは混乱していた仲間が落ち着きはじめる、自分の生活リズムを徐々に作り上げていくことが出来るようになり、新たな生活の場に向けての見通しが、仲間、保護者がより持てるようになりつつあります。普段、作業所ではなかなか活動に参加できない仲間が、包丁やフライパンを自ら持ち調理しようとする姿が見られるなど、作業所と家庭での様子の違いを知ることができたりと新たな発見もありました。仲間、保護者の方からも好評で、生活体験希望者数も開始当時から比べて増え、現在、様々な方がアパートで生活体験をされています。仲間の新たな生活の場利用に向け、仲間がより生活しやすい環境、心の準備を作り上げていきたいと考えています。

## キッチンセルプの取り組みを 振り返って

キッチンセルプは、昨年十月十八日にオープンし、半年の時を重ねてきましたが、四月からとちぎ福祉プラザのグランドオープンに伴い、仲間も増やし新しいスタートを切りました。半年間で築き上げてきたものを大切に、さらなるステップアップを目指して日々営業しております。

金田 貢

キッチンセルプの仕事の特徴は、今までの作業所の中の仕事とは大きく異なって知らない多くの人と接していることです。作業所で働いているときは、仲間と職員、ボランティアといった範囲の中で仕事をしていました。身内の中に身を置く感覚があると思います。しかし、キッチンセルプはお店に来るお客様はもちろんのこと、会館を利用する見学者、会議や研修の参加者、プラザ内の職員など、常に不特定多数の人に接し、その中でマナーを守る仕事をこなす、緊張の連続に身を置く大変さがあります。サービスの質も、ぎこちなさはあってもそれなりのものを求められるし提供もしなくてはなりません（四月から担当になった私も、髪の毛の生え際が徐々

に……えっつりもともと)。でも、そんな中、仲間たちのエネルギーには脱帽するばかりです。まずは、適応力の高さです。初めは当然環境の変化にとまどいますが、日を追って仕事を吸収していき自分のものにしていきます。作業所で働いてきた経験がこういうところで生きるのでしょうか。

できる・できないで見えてしまうと、できないことが多く、だめ!!となってしまうのですが、どうしたらできるかを考え、援助すればいろいろなことができることがわかってきました。

健常者からすれば、「そんなこと」と思われるような簡単なことでも、お客さんにしっかりサービスを提供でき、「ありがとう」と笑顔を返されたときは、本人たちにとって大きな喜びと、自信が持てるのではないかと思います。認められる実感が喜びとなるのかもしれませんが。緊張感が更に大きくさせるのかもしれませんが。実際、言葉が増え生き生きと働く姿、壁にぶつかってもお客さんの励ましに自信を深める人など成長の早さも感じます。

仲間の生き生きとした姿が売り上げにも影響し、少しずつ忙しくなってきました。その分、新しい課題もでてきて、休むことなく工夫をしなくてはなりません。ともあれ、面白いといって働く仲間たちが、様々な面で充実感を味わい、できたら長く営業できればと思う、今日この頃です。

キッチン・セルプは、ボランティアさんを含めたくさんの人々に支えられているお店です。

## 障害の重い仲間への取り組み

石塚 千晶

五月下旬から、一人一週間ずつ、三人の仲間がキッチンセルプで実習をしました。

一日に忙しい時間と全く仕事がない時間があり、一日の流れが不規則という点で、規則正しいこぶしでの仕事とは違い、慣れるまで時間がかかるのではないかと思われました。

仕事を始め、最初は緊張していましたが、日を追うごとに慣れていくのが目に見えて分かりました。初めのうちはお客様に水やおしほりを出したり、食器を下げる仕事をしました。テーブルを拭いたり、お皿を洗ったり、その他細かい仕事もとまどいながらやりました。忙しくなると次から次へと料理を運び、休む暇もなく動いていて、疲れたようすでした。慣れはじめてからは、休んでいてもお客様が来ると立ち上がり、積極的に仕事をしていました。

今回の実習は、とても良い経験だったと思います。一週間だけではなく、これからもっとたくさんキッチンセルプで仕事をすればすっかり慣れて、人とふれあうことも楽しみながら働くことが出来るのではないかと感じました。

## 第二けやき作業所 給食調理 一カ月が経って

六月より第二けやき作業所のメンバーたちで給食の調理を始めてから一カ月が経ちました。

星宮 有子

最初の頃は、メンバーも職員もはじめてのことばかりで、何をどうやったらよいかわからず、悪戦苦闘していました。それでも、けやき作業所の厨房職員や、パートのシルバー職員さんたちに指導していただき、手助けしてもらいながら、何とか給食の時間までに作り上げることができるようになりました。

給食調理が始まったばかりの頃は、包丁や火（ガス）の取り扱いにおっかなびっくりだったメンバーたちも、今では、すっかり厨房の仕事に慣れ、自分から積極的に作業に取り組んでいます。メンバーたち同士で、「これはどう切ろうか?」「こうしたほうがきれいに盛りつけられるんじゃないの?」など、いろいろ相談しながら、毎日和気あいあいと仕事をしています。しかし、やはり給食の時間が近づいてくると、「早く完成させなければ!」と、どのメンバーの表情も真剣です。

### 8月こぶし作業所暦

- 8月 3日 市貝中学校見学
- 4日 支援会議
- 5日 社会福祉法人こぶしの会  
長期計画策定委員会
- 6日 豊郷中学校見学
- 11日~19日 夏季休暇
- 22日~24日 自立生活体験
- 24日 プール(那須野が原プール)
- 25日 職員会議  
ひろがれコンサート  
合同練習
- 28日 地域での暮らしを考える会  
幹事会

### 8月けやき作業所暦

- 8月 4日 支援会議  
ひろがれコンサート  
実行委員会
- 7日 芳賀中学校見学
- 11日~19日 夏季休暇
- 25日 職員会議  
ひろがれコンサート  
合同練習

給食のできばえもなかなか評判が良く、「おいしい。」と、みんなほとんど残さずに食べてくれてます。そのことが、調理をしているメンバーの自信となり、「もっとおいしく、もっときれいに作ろう!」という励みにもなっているように思います。

そしてメンバー自身からも、「料理を作ることは楽しい。」「いろんな調理の仕方(切り方など)を覚えられていい。」等の声も聞かれます。さらに、給食で作った料理を参考にして、自宅でも同じようなものを作って食べている、食べるものにバリエーションがでてきた、というメンバーもいます。そのような声を聞く度に、給食調理をやっている意味があるなあと実感しています。

これからも、みんなに喜んでもらえるようなおいしい給食を、メンバーと職員、力を合わせて作って行けたらよいなと思っています。

### ギャラリー



親指で  
作った  
「花」

川堀 雅子

## おむすび

(保護者リレートーク)

今回はけやき作業所、湯沢敦子さんのご家族の登場です。

## けやきで「働く」こと

湯沢 ツル子

けやき作業所にお世話になってから早いもので二年が経ちました。益子養護学校を卒業し、けやきに来た当初はまだまだ未熟であり、作業所に出かけていったとたんに「お腹が痛いから迎えに来て」という日が度々あり、どうなることやらと心配したものでした。ところが最近ではパン班に試行的に入れていただき、作業班の中でもちゃんとやれるかどうか、心配でもありませんが、早番にも何とか慣れ、一日頑張っている毎日です。学校時代とは違い、他の仲間との関係もいろいろトラブルもあり悩んだりもしますが、自分で解決し、次の日には元気に通っている強さも見られるようになり、安心して



パン班に入る前から、「将来はうどん屋に勤めたいの」という希望があり、食品を扱う班に入ったことで更に希望を大きくつのらせ、今度はそれが実現に向けられるところです。

今月より友遊はがの「おふくろ」という職場での実習を引き受けていただけることになり、喜んでいるところです。まだまだ心配なところはありますが、自分が「やりたい」という意志を尊重し、希望を膨らませながら自立していつてくれればと願うところ。家でも応援しながら見守ってまいりますので、今後も支援の程、よろしくお願いいたします。

### お知らせ

## セルプ・みらいニユース

去る七月七日(土)「セルプ・みらい」建設に当たっての業者選定のための入札が法人理事並びに真岡市社会福祉課・社会福祉係長の立ち会いのもと、公正かつ厳正に行われました。参加した業者は(株)石島建設・(株)興建・(株)剋真建設・(株)篠崎建設・(株)芳賀屋建設・(株)山本組・(株)渡辺建設の七社でした。入札の結果(株)剋真建設(真岡市)が落札しました。これで「セルプ・みらい」の建設も目前となりました。鳥塚しげき・のり子バリアフリーコンサートの準備も急ピッチで進められています。忙しさと暑さでみらいの会のお母さん方も疲労度一〇〇%の中、実行委員の皆さんと共に奮闘中です。一人でも多くの皆さんがコンサートに足を運んで下さることを期待しています。

日 時：平成十三年九月二十三日(日)

午後一時三十分から

会場：真岡市市民会館 大ホール  
 チケット代：大人 前売り 二〇〇〇円  
                   当日 二五〇〇円  
                   子供 前売り 五〇〇円  
                   当日 七〇〇円

お問い合わせは

こぶし作業所 〇二八-六六一-一九二一  
 けやき作業所 〇二八-六八七-二〇四〇

まで

こぶし作業所

木のチップ作業の実践

リサイクル班の新しい作業として導入されたチップ作業は、仲間たちにも好評です。どんな取り組みでしょうか。

石沢 恵美子

今年の五月から、リサイクル班の仕事として、自立センターゆめさんの依頼を受けて、高根沢町の各小学校にて、週に一、二日木のチップ作業を行っています。

作業の自身としては、切った木や枝を粉砕の機械に通して、細かくチップにして木の根元に蒔く、といったことを星野健さんを中心に六名で行っています。枝を渡す人、チップになったものを蒔く人、長い木を切る人に分けています。チップ自体は、五年位の長い時間をかけて、腐葉化していき、また木として生まれ変わるといって、木のリサイクルです。

この作業は、高根沢町の環境課の仕事として行っていました。障害者の人にも出来ないか？とのことで、始めました。収益は少ないのですが、始めての作業に戸惑うこともなく、空気のいい外で働く喜びを皆感じながら、暑い中頑張っています。このチップを通して、小学生や地域の人たちに、木や枝を渡してもらったり、重い袋と一緒に持ってもらったりと、時には休憩時のお茶を一緒に飲んだりとふれあうことができ、楽しく仕事をする事ができました。これを機会に、これからも地域の人たちと交流していきたいと思っています。

けやき作業所

自分らしさを追求  
けやきデイサービスセンター

今年度、けやき作業所デイサービスセンターは四月から新しいメンバー四人を加えて二十一名の大所帯で活動しています。

荒井 雅明

「おはようございます」「今日は何をやるんだっけ？」

「さんぽー！」「こうえんにいくー！」

「えい！そうだったっけ？この前みんな決めてたじゃない」

「きょうは“だんご”つくんだっべよ」

「そうだね、今日はおかしづくりの日だね」

こんな様子でデイサービスの一日は始まります。

日中活動の内容は、週に一度自分たちの活動予定を決定し週課表を作り壁に貼りだします。そして、毎日の朝の会でその日毎の活動を確認すること、自分のその日の活動に見通しを持ってするようにしています。障害の幅が大きな集団であるため、その確認作業には言葉だけの伝達ではなく絵カードや写真なども利用し、それを仲間が指し示すことで徐々にできていきますが自らの活動と結びつく場面となってきました。

日中活動の内容は、労働に結びつくとりくみである「下請け作業」「紙すき」、文化的なとりくみである「お菓子づくり」「ビデオ鑑賞」、社会的な体験を深める「外出」、レクリエーション的な「運動」となっていて日々様々な活動に参加しています。最近になっ

て労働を通して自立支援をということを大切にしようとして一週間を通して午後の時間は下請け作業（ピニールハウスの部品）、紙すき作業の二班に分かれての活動スタイルをとっています。この中で、これまでなかなか作業場面に集中して参加できなかった仲間たちが、この作業のこの場面であつたら参加できるといふ様子が見られるようになってきました。これは紙すき作業というならば、大集団であつたがために設備品の貧弱さも手伝って順番待ちがあつたため集中できなかったことが、分割されたこと、また自分で選んだ作業にとりくむことで参加できる場面が多くなつたためとも考えられると思います。しかし、下請けの作業は受注量が安定せず相手次第ということもあつて、今後の作業開拓にも課題を残すところではあります。

文化的なとりくみや外出は仲間にとって大きな楽しみとなつていて、要求が実現できる場面として大切なとりくみです。週課の相談日でもいろいろ意見が飛び出すのはどんなお菓子を作るか、ビデオは何を見たいか、何処に行きたいかの質問の時です。情報としての職員側の誘導的な質問もあるものの、なにか楽しいことがあるという期待感には私たちにも感じさせられます。

このような様々な活動に期待感を持って参加している反面障害の重い仲間にとっては、日替わりの活動でデイサービスの生活に自分の見通しが持てずに混乱しているのではないかと思われる方もいることは事実だと思っています。「ここに来れば何かがある」ではなく、「ここに来ればこれがあつた」「日々変わらない内容が必要な仲間にとつてのとりくみも考えていかなければならないことも課題になつていきます」とはいえ毎日二十一名の仲間たちが元気に活動しているデイサービスセンターです。

● 掲 示 板 ●

※お問い合わせは  
こぶし作業所へ

**セルフ・みらい建設のための  
募金にご協力ください**

施設を建設するためには、多額の資金が必要になります。国や県から補助を受け、又、公的な融資制度を活用しても約1,700万円の寄付・募金がなくては、施設を建設できません。

そのため、皆さまには、私たちの施設づくりの趣旨をご理解いただき、施設建設募金へのご協力を心よりお願いいたします。

**募 金 要 領**

1口3,000円です (何口でも結構です)

募金をしてくださる方は

●事務局または作業所にお持ちくださるか、下記までお電話いただければ幸いです。

事務局 (佐護方) 0285 (84) 6181

けやき作業所 028 (687) 1040

●ご送金 (郵便振込) の場合は、所定の振替用紙をご使用いただくか、下記へお願いいたします。

郵便振替 口座番号 00140-9-558846  
みらいの会

**ボランティア  
募集**

こぶし・けやきで  
楽しく仕事をしませんか

- 内容 こぶし作業所  
けやき作業所  
デイサービスセンター  
第2けやき作業所  
(作業所で仲間と一緒に仕事をして下さる方募集しています。)
- キッチンセルフ  
厨房・フロントでお手伝いしていただける方
- ときわ荘  
日中のそうじボランティア  
大募集
- すずらんの家  
夕食づくりボラ

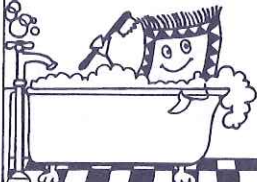
こぶし作業所・けやき作業所  
後援会会員拡大にご協力をよろしくお  
願ひいたします。

共同作業所全国連絡会  
賛助会員募集  
連絡は栃木支部事務局  
けやき作業所へ



**ふふふせっけん**  
好評発売中!!

粉石鹼 1.2キロ入り 240円  
固形石鹼 2個入り 100円



**「ひろがれ  
コンサート  
2001」**

平成13年 **9/23** (日)  
PM1:30

真岡市市民会館大ホール

にこにこ  
**パン屋さん**

各種豊富に取りそろえて  
おります。注文票をFAX  
にてお送りしますので、  
お気軽にご連絡下さい。

**けやき作業所**

